

ワタミの
でんき

みらいレター

創刊

vol.1
2021. 1 月号

発行:ワタミエナジー株式会社

ECO-FRIENDLY INTERVIEW

ワタミのでんきを3年以上ご利用いただいている株式会社森のエネルギー研究所の菅野明芳取締役は「ワタミのでんき」を選んだきっかけや、これからの取り組みなどを伺いました。



木質バイオマスエネルギーを活用し、森林資源と経済の循環を生み出すこと

Q) 普段はどんなお仕事をされていますか

地域や施設によって、エネルギーの使い方や、使える資源が違います。画一的なサービスではなく地域の特性に合わせて、どうすれば適正な規模や資源の使い方になるかなど、地域の方の立場に立った実践提案型のコンサルティングをしています。

木質バイオマスの場合、太陽光などと違い一度機械を入れたら終わりではありません。メンテナンスや燃料の供給が10年から20年必要となります。燃料にする木材にしても広葉樹の多い地域、針葉樹の多い地域など地域によって異なります。そういったところを地域の方々とよく話をして実現可能なモデルを示していくことが、その地域にとってのベストなシステムを作っていくこととなります。

例えば、福祉施設で太陽光と蓄電池とバイオマスボイラーを組み合わせることで、災害が起こったときでも、電気も熱も自給できる施設にしようという減災・防災の施設づくり。またある自治体の取り組みで太陽光発電やバイオマス発電を組み合わせ「RE100都市エリア」という地域のモデル都市の開発にも関わったりしています。

インタビューの内容は、ワタミエナジーのサイトに掲載!

Q) ワタミのでんきに変えたきっかけを教えてください

2016年に、ワタミ様が『再エネの電力を軸にした家庭向け電力小売り事業に参入』というWEB記事を見て元々ご縁のあったワタミエナジーに電力を切り替えました。

電力会社を調べる中で「地域内でエネルギーも経済も循環させたい」という思いで地域電力の立ち上げ支援などを行っている、というワタミエナジーの取り組みが、「地域に根ざした仕事をする」という私の仕事のスタンスとも親和性が強いなと改めて感じました。

また、近々自宅を「太陽光発電+蓄電池で、自家発電で賄えるZEH(ゼロエネルギーハウス)」に新築したいと思っています。まずは同じ地域の皆さんに電力会社の切り替えという手段も含めて「CO2ゼロの生活に変える」行動を自分事として捉えて頂けたら良いな、と思っています。

2050年に私は70歳のお爺さんになっています。それまでに、きちんと「CO2ゼロ」という目標を達成した上で同じ町内の子供たちに「俺たち爺さん婆さんは、CO2ゼロの社会を創るためにこんな活動を地域でしたんだよ」「あの家の太陽光発電等の再エネ機器、君たちに引き継ぐよ。長く使えよな。そして、次の世代にまたバトンを渡して、いい地域にしていってな」と、誇りをもって語れるような「町の名物じじい」になりたいと思っています。

株式会社森のエネルギー研究所
取締役 営業部長

菅野 明芳さん

東京大学大学院 農学生命科学研究科
森林利用学研究室 修士前期課程 卒業。
平成18年4月森のエネルギー研究所に
入社。平成24年6月取締役就任。





うすきエネルギー株式会社

ワタミエナジー(株)のグループ会社。エネルギーの地産地消による、地域の活性化を目標とし、未活用となっている木材や醸造副産物などのバイオマス資源を活用した電力の調達を目指します。

うすきエネルギー
公式サイト



ワタミエナジーが支援する地域電力
地域を元気に!

うすきエネルギー株式会社は、大分県臼杵市でエネルギーの地産地消を目指す地域電力会社として2016年10月に誕生しました。「地元でつくった電気を地元で使おう!」というコンセプトのもと、臼杵市の公共施設、工場、民間施設に電気を販売しています。

現在は市民の皆様にも「うすきエネルギー」を知っていただくため、新料金プランとして、子育て世帯の方は基本料金が1年無料になる「子育て応援プラン」や電気料金の一部をスポーツクラブ活動に寄付する「うすきスポーツクラブ応援プラン」など、地元臼杵を支援する取り組みを展開中です。また、自宅屋根の太陽光発電やバイオマス発電といった地元にある「小さな発電所」でつくった電気を皆様にお届けする取り組みも始めています。

私たちはこうした取り組みを重ね、事業を通じて地域内で経済循環させ、地域を元気にすることを目指しています。



きこりに聞く 林業のいろは

ワタミエナジーの臼杵事業所は、林業・森林整備事業に取り組んでいます。林業は建築材料や家具、紙製品など、私たちの生活に欠かせない製品の原料となる木材を生産する職業です。ダイナミックに大木を伐り倒す「伐採」のイメージが先行しがちですが、森林環境の維持・保全のために季節に合わせた様々な仕事があります。具体的には、①植林②下刈り③除伐・間伐④伐採などの仕事があります。適切に管理された森林は土壌の流出を防いだり、雨水を貯水して洪水を防いだり、災害を防ぐ重要な役割を果たします。

次号からは、具体的にどんな道具を使用してどんな作業を行うのか紹介していきます!

(私たちは林業を通じて森を豊かにしていく中で、間伐材などは木質チップにし、ワタミエナジーの臼杵バイオマス発電所で発電を行い、電力の地産地消で地域産業の活性化を目指しています。)

第1話 林業って何をしている?



ワタミエナジー水上です。あまり知られていない「林業」について少しづつ皆さんにお伝えしていきます!



大分県
臼杵市

ワタミグループのオリジナル食品



生姜シロップ (レモン・黒糖2本セット)

国産の有機生姜を100%使用。有機の砂糖とあわせてじっくり煮詰めて作った、濃厚な生姜レモンシロップ。生姜のピリッとした辛みと、黒糖のまるやかでコクのある甘みが絶妙にマッチした生姜黒糖シロップ。



応募フォーム

抽選で
5名様に
プレゼント!

申込方法: こちらの応募フォームよりお申し込みください。
締め切り: 2021年2月28日23時59分までにご応募ください。
発表方法: ご当選者様の発表は厳正なる抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

ワタミエナジー再エネ発電量 2020年9月~11月

風力発電	1,272,621 kWh
太陽光発電	183,025 kWh

●秋田県にかほ市「風民」、秋田市、由利本荘市、全3機
●相模原、日高、東松山、丹波、岩国、関西の全6機



ワタミのでんきは、電気料金の1%を自然エネルギーに投資しています

ワタミエナジー株式会社
東京都大田区羽田一丁目1番3号(〒144-0043)
<https://watami-energy.jp/index.html>
ご意見ご感想・お問い合わせ TEL:050-3816-7678



ワタミエナジー
公式サイト

